



# 世界最大規模の水中写真公募展 地球の海フォトコンテスト2018

第20回  
記念開催!!

## 作品募集!

海のすばらしさをあなたの写真で伝えよう!

「地球の海フォトコンテスト」は1971年に始まった「マリンドIVING水中写真コンテスト」から数えると、46年の歴史を誇る、世界最大規模の水中写真の公募展です。「水中写真を撮るダイバーを増やしたい」という思いから始まった本コンテストは、デジタルカメラの普及とともに、簡単に水中写真が撮れるようになり、毎年、世界中の海で撮影されたすばらしい作品が多く応募されます。今回は開催20回記念として、ネイチャー・環境部門と自由部門の両部門の上位から、館石昭賞を選出します。また、ビギナー部門は、昨年までの対象を水中写真歴5年以内の方としていたのに加え、ダイビング経験本数100本以下の方も応募できるように対象者を拡充しました。地球の海のすばらしさを、ぜひあなたが撮影した水中写真で表現してみませんか。

締め切り  
2018年  
1月22日(月)  
必着!

- 主催/マリンドIVINGフェア実行委員会
- 共催/(株)水中造形センター
- 後援/環境省
- 特別協賛/OLYMPUS



部門	テーマ	応募形態	制限点数/ 応募手数料	賞位	入賞点数	賞状・副賞	審査員(敬称略)
ネイチャー・環境部門	海の生き物のネイチャーシーンや、環境への関心を訴えかける水中写真	プリント:2Lサイズ ※応募画像データを保存したCD-Rなどの記録メディアを同封すること	何点でも応募可能 1点につき 1,000円	グランプリ	◆1点	◆賞状、副賞	■審査員長 福永友保 ■審査員 奥谷喬司 瀬能宏 環境省職員
				準グランプリ	◆1点	◆賞状、副賞	
				3位	◆1点	◆賞状、副賞	
				入選	◆197点 (うち優秀賞数点)	◆賞状	
自由部門	水中写真であればテーマは自由。アート性のある作品を重視	ポジフィルム:マウント付き35mmサイズ	何点でも応募可能 1点につき 1,000円	グランプリ	◆1点	◆賞状、副賞	■審査員長 福永友保 ■審査員 高砂淳二
				準グランプリ	◆1点	◆賞状、副賞	
				3位	◆1点	◆賞状、副賞	
				入選	◆297点 (うち優秀賞数点)	◆賞状	
ビギナー部門	水中写真歴5年以下、またはダイビング経験本数100本以下の方が対象。水中写真であればテーマは自由	プリント:2Lサイズ ※応募画像データを保存したCD-Rなどの記録メディアを同封すること	1人10点まで 1部門につき 1,000円	グランプリ	◆1点	◆賞状、副賞	■審査員長 鍵井靖章 ■審査員 『マリンドIVING』編集部
				準グランプリ	◆1点	◆賞状、副賞	
				入選	◆198点 (うち優秀賞数点)	◆賞状	
				グランプリ	◆1点	◆賞状、副賞	
ビーチフォト部門	ビーチや夕日など、海辺で撮影した陸上の写真。	プリント:2Lサイズ ※応募画像データを保存したCD-Rなどの記録メディアを同封すること	1人10点まで 1部門につき 1,000円	準グランプリ	◆1点	◆賞状、副賞	■審査員長 高砂淳二 ■審査員 『マリンドIVING』編集部
				入選	◆98点 (うち優秀賞数点)	◆賞状	
				グランプリ	◆1点	◆賞状、副賞	
				準グランプリ	◆1点	◆賞状、副賞	

★第20回記念賞として、ネイチャー・環境部門と自由部門の上位入賞作品から館石昭賞を選出予定!!  
★ビギナー部門入賞作品を対象に、特別協賛賞を授与!!  
オリンパス賞……提供/オリンパス株式会社  
サンシャイン水族館賞…提供/サンシャイン水族館  
セイコーウオッチ賞…提供/セイコーウオッチ株式会社

※2017年10月現在 審査員や賞は都合により変更になる場合があります  
※ネイチャー・環境部門と自由部門の入賞作品は、展示終了後に授賞者にプレゼントいたします  
※エリア賞は、決まり次第お知らせします。

審査員紹介	<b>■ネイチャー・環境部門 自由部門審査員長</b>  <b>福永友保</b> Tomoyasu Fukunaga 全日本写真連盟理事。1967年朝日新聞社入社。写真部員として東京、大阪、札幌勤務。大阪写真部長、東京写真部長を歴任。	<b>■ネイチャー・環境部門 審査員</b>  <b>奥谷喬司</b> Takashi Okutani 軟体動物の分類・生態・資源研究が専門。水産庁東海区水産研究所、国立科学博物館動物研究部、東京水産大学を経て、現在は東京水産大学(現東京海洋大学)名誉教授。日本貝類学会名誉会長。理学博士。	<b>■ネイチャー・環境部門 審査員</b>  <b>瀬能宏</b> Hiroshi Senou 《神奈川県立生命の星・地球博物館》学芸部長。専門は魚類分類学と生物地理学、保全生物学。ダイバーや釣り人などから写真を集めて研究に生かす「魚類写真資料データベース」を構築中。	<b>■自由部門審査員、ビーチフォト部門審査員長</b>  <b>高砂淳二</b> Junji Takasago 自然写真家。海をはじめとする地球全体をフィールドとし、自然全体の繋がりをテーマに撮影活動を行っている。最新刊の「LIGHT on LIFE」をはじめ、「Dear Earth」「night rainbow」など著書多数。	<b>■ビギナー部門 審査員長</b>  <b>鍵井靖章</b> Yasuaki Kagii 水中写真家。大学在学中に伊藤勝敏氏に師事。1993年よりオーストラリア、伊豆、モルディブなどで撮影に励み、1998年フリーランスフォトグラファーとして独立。写真集『夢色の海』など多数。
-------	---	---	---	--	---

★最新の情報は、月刊『マリンドIVING』やマリンドIVING Web をチェック!!

<https://marinediving.com/photocon/>

地球の海フォトコンテスト

検索



# 「地球の海フォトコンテスト2018」応募手順

## 1 作品と応募票を準備する

作品の裏に貼るデータ票の記入、作品の天地、応募票の記入、画像データの同封、梱包、発送と不備がないように丁寧に作業しましょう。例年、作品どうしがくっついてしまったり、画像データの不備などのトラブルが見られるので、必ず確認してください。

### ①2Lプリントを作る

応募作品は、2Lサイズと呼ばれるサイズ。このプリントを審査員が直接見て審査するので、きれいなプリントを準備しよう

### ②作品データ票を用意し記入する

応募票右下の作品データ票を応募点数分用意する。コピーでもOKだ。部門名やタイトルなど、必要事項の記入漏れがないように注意

### ③作品データ票をプリント裏に貼る

作品と同じ天地になるようにデータ票を貼る。データ票の天地にあわせて、入賞作品は公開されるので間違いないように。のりで貼るときは、完全に乾いてから梱包しないと、作品がくっついてしまうこともあるので注意

### ④応募票に記入する

作品データ票と同じ内容を、応募票にも記入する。1部門につき1枚の応募票が必要。連絡先や応募手数料振込控えなども忘れずに。できれば手元に応募票のコピーを取っておくと、どんな作品を応募したか忘れない

### ⑤作品の画像データをを用意する

応募作品と同じJPEG形式の画像データを、CD-Rなどに書き込む。同一部門であれば複数の作品をまとめて一枚に書き込んでOK。必ず部門と氏名を記載すること。例年、何も記録されていないという失敗が多いので、書き込んだ後、必ず確認してほしい

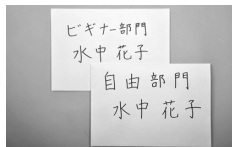


### ⑥作品を梱包する

インクやのりが完全に乾いたら、作品が傷や水濡れで傷まないように厚紙で挟み、ビニール袋に入れて梱包する

### ⑦部門ごとに作品を梱包する

複数の部門に応募するときは、作品、応募票、画像データを部門ごとにまとめ、それぞれ部門名を記載し、まとめる



## 2 応募手数料を支払う

応募手数料は、銀行振込か郵便振替でお支払ください。

- ネイチャー・環境部門と自由部門は作品1点につき1,000円
  - ビギナー部門とビーチフォト部門は10点まで応募可能で、1部門1,000円
- 複数の部門に応募する場合は、まとめて支払ってもかまいません。応募票の右下に、応募支払手数料控えを貼付してください(コピー可)。

### ■応募手数料支払先

※振込手数料は応募者負担となります

#### ●銀行振込の場合

「フォトコンテスト実行委員会」  
三菱東京UFJ銀行 麹町中央支店 普通口座1040314

#### ●郵便振替の場合

郵便局備え付けの振込取扱票に口座番号「00130-6-75938」、加入者「(株)水中造形センター」、通信欄「地球の海フォト2018 ○○部門応募分」と明記の上、お支払ください。  
※海外からの応募のみ、クレジットカードが利用可能です。応募規定をご覧ください。

### ■ポジフィルムでの応募について

作品をポジフィルムで応募する場合は、必要事項をマウントに記入しプリントと同様に傷や水濡れに注意して梱包してください。ポジフィルムのみ返却可能となりますので、その場合は返却希望と記載してください。応募手数料以外に、1部門600円が必要になります。

## 3 作品と応募票を発送する

複数の部門に応募する場合は、まとめて発送しても大丈夫です。発送の際は、**応募部門名をすべて明記してください**。「写真在中」「折り曲げ・水濡れ厳禁」と明記し、簡易書留や宅配便など、配達記録の残る方法でご応募ください。  
※配達中の事故に関しては、当方では一切責任を負いかねます。

### ■応募先

〒102-8612 東京都千代田区麹町1-7相互半蔵門ビル2F  
水中造形センター内  
「地球の海フォトコンテスト2018」事務局 ○○部門  
※複数の部門に応募する場合は、応募部門名をすべて明記してください。

★締め切りは★  
**2018年**  
**1月22日(月) 必着!!**  
たくさんのご応募、お待ちしております!

## 応募規定

※ 応募の前に必ずお読みください

### ■応募資格

アマチュア、プロを問いません(ビギナー部門は水中写真歴5年以上または、ダイビング経験本数100本以下の方のみ)

### ■応募点数

ネイチャー・環境、自由部門は応募点数の制限なし(ただし、点数分の応募手数料がかかります)  
ビギナー、ビーチフォト部門は1部門10点まで

### ■応募方法

#### 【作品の準備】

#### ◆ネイチャー・環境/自由部門

2Lサイズ(127×178mm)プリントもしくはポジフィルム  
※プリント応募の場合はCD-Rなど画像データが入っている記録メディアを添付してください

#### ◆ビギナー/ビーチフォト部門

2Lサイズ(127×178mm)プリントのみ受け付け可  
※CD-Rなど画像データが入っている記録メディアを添付してください

※規定外のサイズでの応募の場合、審査対象外となりますのでご注意ください

指定の応募票(コピー可)に必要事項を漏れなく記入の上、プリントは裏面、ポジフィルムはマウント部分に作品データを記入し、撮影者の氏名、部門名、タイトル、作品番号、作品データ(プリント作品のみ)を明記してください。ポジフィルムのみ返却可能ですので、希望する方は「返却希望」とマウント部分にお書きください。

応募票には、応募手数料および返却手数料の振込票の控え(コピー可)を貼付してください。

#### ★全部門、記録メディア(CD-Rなど)での画像添付が必要です。

ビギナー部門、ビーチフォト部門で応募の方も、画像データの入ったCD-Rなどの添付をお忘れなく!

#### 【応募手数料の支払い】

ネイチャー・環境/自由部門→1点につき1,000円

ビギナー/ビーチフォト部門→1部門につき1,000円

ポジフィルム作品返却手数料→1部門につき600円

### ◆支払方法

銀行振込、または郵便振替(振込手数料は応募者負担)  
※応募手数料および作品の返却料支払いは、銀行振込または郵便振替に限りません。切手や小為替、現金での支払いは規定外となりますので、ご注意ください。

※海外からの応募のみVISA、AMEX、Master Cardの利用可

### ◆支払い先

#### ●銀行振込の場合

「フォトコンテスト実行委員会」  
三菱東京UFJ銀行 麹町中央支店 普通口座1040314

#### ●郵便振替の場合

郵便局備え付けの振込取扱票に口座番号「00130-6-75938」、加入者「(株)水中造形センター」、通信欄「地球の海フォトコンテスト2018 ○○部門応募分」と明記の上、お支払ください。

#### 【発送】

複数の部門に応募される方は部門別に応募票を作成し、封筒を分けてご応募ください。ただし発送するときは、各部門の封筒を大きな封筒などにまとめて発送しても構いません。  
作品の発送は簡易書留や宅配便など、配達記録の残る方法で行ってください。取り扱いには十分注意いたしますが、配達中のトラブルおよび不慮の事故に関して当方では一切責任を負いかねます。ご了承ください。

### ◆応募先

〒102-8612 東京都千代田区麹町1-7相互半蔵門ビル2F  
水中造形センター内  
「地球の海フォトコンテスト2018」事務局 ○○部門宛

### ◆応募締め切り

2018年1月22日(月) 必着

### ■応募の注意

(1) プリント作品と記録メディアは返却いたしません  
ポジフィルムの作品のみ返却可能です(希望者のみ。1部門につき返却手数料600円)。

(2) 1枚の作品または類似作品を複数部門にまたがって応募することはできません。  
重複応募が発覚した場合、その作品はすべての部門で審査対象外とさせていただきます。

(3) すでに発表済みの作品、他のフォトコンに応募したまたは応募予定の作品、およびそれらの類似作品を当フォトコンテストに応募することはできません。

発表済みの作品とは、過去にフォトコンテスト(当フォトコンテスト、他のフォトコンテストにかかわらず)、雑誌や広告などに掲載し

た作品、ホームページに掲載した作品(個人的なホームページは除く)などを指します。

### ■入賞について

原則として、受賞は1人1部門の中で1賞とします。ただし、当規定に違反している場合、または審査員がモラルに反すると判断した場合は、入賞取り消しになる場合があります。  
各部門のグランプリ、準グランプリ、3位および特別賞、エリア賞の入賞者には、表彰式があります。

### 【入賞作品の発表】

2018年4月6日(金)～8日(日)に池袋サンシャインシティコンベンションセンターTOKYO文化会館C、Dホールで開催される「マリンドイビングフェア2018」の会場で発表、ならびに水中造形センターの出版物、「マリンドイビングWeb」に掲載予定。

### 【展示用プリントの制作について】

ネイチャー・環境部門、自由部門審査の結果、入賞した作品は、額に入れて展示するためにプリントを制作します。大きく伸ばして展示した作品は、展示終了後に受賞者にプレゼントいたします。なおビギナー部門、ビーチフォト部門は応募作品をそのまま展示いたします。  
※制作した展示用プリントは展示終了後(2018年6月下旬を予定)に郵送いたします(ビギナー部門、ビーチフォト部門のプリント作品は返却いたしません)。  
※額定は含まれておりません。ご希望の方は別途ご購入可能です。

### ■入賞作品について

入賞された作品は、当フォトコンテストのプロモーション活動や、(株)水中造形センターの雑誌、書籍、WEB等の企画に掲載されることがあります。  
特別賞、エリア賞の受賞作品は協賛社のプロモーション活動に使用されることがあります。

### ◆主催/マリンドイビングフェア実行委員会

### ◆共催/(株)水中造形センター

### ◆お問い合わせ先

「地球の海フォトコンテスト2018」事務局

TEL:03-3222-0317 (平日10:00～18:00)

FAX:03-3222-0310

E-mail:photo-con@marinediving.co.jp

★ Application form is available in English, can be downloaded from the website. For more information, please refer to the website of The Blue Earth Underwater Photo Contest 2018.